

京都市立呉竹総合支援学校 沿革史

昭和	33年	4月	京都市立桃山小学校呉竹分校として設置。(小学部のみ6学級。)
		10月	京都市立呉竹養護学校として認可
	34年	4月	中学部設置(小学部6学級, 中学部1学級)
	38年	11月	体育館竣工
	43年	6月	創立10周年記念肢体不自由教育研究発表会(全市小・中学校対象)
		10月	創立10周年記念式典
	48年	4月	訪問教育制度の実施により, 訪問教育部設置
	49年	4月	京都市桃陽病院に隣接して桃陽分校を設置
	50年	4月	国立宇多野病院に隣接して鳴滝分校を設置
	51年	11月	本館(鉄筋2階)完成
	52年	4月	鳴滝分校が鳴滝養護学校として独立開校
	53年	6月	プール完成
10月		創立20周年記念行事開催	
54年	4月	桃陽分校が桃陽養護学校として独立開校	
			養護学校義務制施行
55年	6月	新体育館竣工	
58年	10月	創立25周年記念行事開催	
63年	10月	創立30周年記念行事開催	
平成	5年	4月	「呉竹の歌」を校歌として制定
		10月	校旗制定
	10年	4月	高等部訪問教育開設
		10月	創立40周年記念式典・祝賀会開催
	12年	5月	文部科学省教育研究開発学校の指定を受ける。
	14年	6月	「養護育成教育相談センター」開設
	15年	12月	すべての特別教室・学習室にエアコン設置工事
	16年	2月	創立45周年記念式典開催
		3月	総合制・地域制再編に伴い, 高3を除く在校生が北・東・西・呉竹4校区に分離
		4月	総合制実施にともない, 京都市立呉竹総合養護学校と改称
	17年	12月	文部科学省教育研究開発学校指定研究最終報告会・公開授業
	18年	4月	文部科学省「コミュニティ・スクール推進事業」指定
	19年	4月	学校教育法改正に伴い, 「京都市立呉竹総合支援学校」と改称
	20年	2月	ユニバーサルデザインによる校舎・教室表示板設置(京都精華大学との共同研究)
		4月	文部科学省「外部専門家活用事業」委託研究指定
		6月	英国ヘリテッジ・ハウス・スクール訪問, 英国太鼓フェスティバル出演
11月		創立50周年記念式典開催	
21年	4月	文部科学省「芸術系大学学生等を活用した特別支援学校教育推進事業」指定	
	8月	校庭芝生化	
22年	4月	文部科学省「特別支援教育に関する教育課程の編成等についての実践研究」指定	
			ヘリテッジ・ハウス・スクール来日

- 23年 4月 「魔法のふでばこプロジェクト」(共同プロジェクト)
10月 第57回近畿地区特別支援学校肢体不自由教育研究協議会開催
11月 第42回博報賞 受賞
- 24年 4月 スクールカウンセラー配置
「魔法のじゅうたんプロジェクト」(共同プロジェクト)
京都市教育委員会「21世紀型ICT教育のモデル事業」
- 25年 4月 「魔法のプロジェクト」～障害を持つ子どもたちのためのモバイル端末
活用事例研究～
文部科学省特別支援教育体制整備事業「早期からの教育相談・支援体制
構築事業」
- 27年 12月 京都市立総合支援学校総合制地域制4校合同研究発表会
- 28年 11月 第62回全国肢体不自由教育研究協議会京都大会 会場校の1つとして
全授業公開